

令和7年度 再評価対象事業一覧表（農業農村整備・県事業）

番号	事業名	地区名等 <small>ふりがな</small>	箇所名	基本諸元（全体事業費・受益面積等）			事業採択	経過年数	区分	事業費進捗率（%）	事業を巡る社会経済情勢の変化及び地元状況等	対応方針
				全体事業費 百万円	受益面積 ha	事業内容						
1	経営体育成基盤整備事業	わだじま 和田島	小松島市	566	17.6	区画整理 17.6ha	R3	5	②	85%	本地区は小松島市和田島町に広がる水田地帯であり、地区内の農地は不整形で狭小であるため、営農に多大な労力を費やしているとともに、耕作者の高齢化や後継者不足が課題となっている。 このため、本事業により農地の大区画化や整形を行い、担い手への農地集積、集約化を図ることにより、持続可能な農業の実現を目指す。 地元受益者や小松島市からは、事業の早期完成を要望されており、令和9年度の事業完了を目指している。	継続
2	老朽ため池等整備事業	いちせき 一の堰	阿南市	1,876	550.0	洪水吐ゲート工 (B20.0m×H2.7m×3門) 電気設備工 1式 余水吐・魚道 1式 附帯工(操作室) 1式	R3	5	②	56%	一の堰は、阿南市中東部、一級河川那賀川水系桑野川下流域に位置し、約50年前に造成された取水堰であり、水稻を中心とした本地域の農業を支える重要な農業水利施設である。 本堰は、詳細調査の結果、扉体、余水吐、魚道等の耐震性能が不足しており、今後発生が想定される南海トラフ巨大地震により被災した場合、機能復旧に多大の時間を要し営農に支障をきたす恐れがある。また、被災後の洪水時には、当該施設を原因とする堤防溢水により堰周辺の市街地が浸水し、家屋や公共施設等に甚大な被害を及ぼす恐れがある。 このため、本事業により早急に本堰の耐震対策及び長寿命化対策を行い、農業用水の安定取水と災害の未然防止を図る。 地元土地改良区や阿南市からは、事業効果の早期発現を要望されており、令和9年度の事業完了を目指している。	継続
3	老朽ため池等整備事業	おおたにだめ 大谷溜	阿南市	341	7.4	堤体工 1式 取水工 1式 洪水吐工 1式	R3	5	①	19%	本地区は、阿南市桑野町に位置し、築造から160年以上が経過している農業用ため池であり、堤体の耐震性能や洪水吐の流下能力及び堤体の余裕高が不足している。また、ため池の下流域にはJR牟岐線や道路があり、決壊時には甚大な被害の恐れがある。 このため、本事業により堤体の決壊を未然に防止すべく早急に堤体補強を行い、農業用水の安定取水と地域防災の安全度の向上を図る。 地元受益者や阿南市からは、事業の早期完成を要望されており、令和13年度の事業完了を目指している。	継続

評価対象の区分

- ①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業箇所
- ②事業採択後5年間を経過した時点で継続中の事業箇所
- ③事業採択後10年間を経過した時点で継続中の事業箇所
- ④事業採択後の準備・計画段階で5年間が経過している事業箇所
- ⑤その他社会経済情勢の変化により再評価が必要となった事業箇所
- ⑥再評価後5年間を経過した時点で継続中の事業箇所

令和7年度 再評価対象事業一覧表（森林整備・県事業）

番号	事業名	ふりがな 路線名等	箇所名	基本諸元（全体事業費・利用区域面積・延長等）			事業 採択	経過 年数	区分	事業費 進捗率 (%)	事業を巡る社会経済情勢の変化及び地元状況等	対応 方針
				全体事業費 百万円	利用区域面積 h a	事業内容						
4	林道開設事業	ひろおかいけがたにせん 広岡池ヶ谷線	海陽町	600	137ha	L=1,740m	R2	5	⑥	56%	当林道は、これまでに供用開始した区間を利用して、過去5年間で（R2～R6）、延べ33.7haの森林において搬出間伐や下刈り等の施策が実施されている。今後、供用区間の増加により、高性能林業機械を活用した森林の整備や保全のための施策を行い、伐採から造林・保育の森林サイクルを確立し、県産材の増産に繋げる見込みである。 また、宍喰川の重要な水源地域として森林の整備が求められているほか、緊急時における国道および市道を補完する迂回路としての役割を担うことから、地元海陽町をはじめ関係者から早期完成を強く要望されている。	継続
5	林道開設事業	かしおあさせん 榎尾阿佐線	三好市	400	132ha	L=700m	R2	5	⑥	31%	当林道は、これまでに供用開始した区間を利用して、過去5年間で（R2～R6）、延べ111.5haの森林において搬出間伐や植栽等の施策が実施されている。今後、供用区間の増加により、高性能林業機械を活用した森林の整備や保全のための施策を行い、伐採から造林・保育の森林サイクルを確立し、県産材の増産に繋げる見込みであり、地元三好市をはじめ関係者から早期完成を強く要望されている。	継続

評価対象の区分

- ①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業箇所
- ②事業採択後5年間を経過した時点で継続中の事業箇所
- ③事業採択後10年間を経過した時点で継続中の事業箇所
- ④事業採択後の準備・計画段階で5年間が経過している事業箇所
- ⑤その他社会経済情勢の変化により再評価が必要となった事業箇所
- ⑥再評価後5年間を経過した時点で継続中の事業箇所

令和7年度 再評価対象事業一覧表（県土整備部関係事業）

番号	事業名	事業者	路線名・河川名等	市町村名	基本諸元 全体事業費C(百万円)等	事業採 択年度	経過 年数	区分	進捗率(%)		事業を巡る社会経済情勢・地元状況の変化等	対応方針
									事業費	用地		
1	道路改築事業	徳島県	阿南小松島線(立江瀬淵工区) 小松島南IC	小松島市	L=1,100m, W=7.0m C=6,000百万円	R1	7	⑤	73	100	阿南小松島線は、四国横断自動車道と連結する「小松島IC(地域活性化IC)」のランプ部を整備するものである。また、四国横断自動車道と一体となって整備効果を早期に発現させるとともに、小松島市南部地区の拠点となり地域活性化はもとより、地域防災力の向上につなげるなど、ストック効果の最大化を図る事業である。現在は橋梁上部工事等を進めている。	継続
2	道路改築事業	徳島県	徳島津田インター線(津田②工区) 徳島津田IC	徳島市	L=1,100m, W=7.0m C=8,900百万円	R2	6	⑥	40	100	徳島津田インター線は、四国横断自動車道と連結する「徳島津田IC(地域活性化IC)」のランプ部を整備するものである。また、四国横断自動車道と一体となって整備効果を早期に発現させるとともに、木材団地として整備された重要港湾「徳島小松島港(津田地区)」の活性化を支援し、当該地周辺に新たな産業・流通拠点を創出させるなど、ストック効果の最大化を図る事業である。現在は橋梁上部工事等を進めている。	継続
3	道路改築事業	徳島県	徳島環状線(国府藍住工区)	徳島市～ 藍住町	L=4,600m, W=14.0(38.25)m C=52,000百万円	H14	24	⑥	10	29	当路線は、徳島外環状道路の西側の一部を形成し、徳島市内中心部及び周辺地域の慢性的な渋滞緩和の中心的役割を担う重要な路線である。これまでに県道徳島鴨島線から県道西黒田中村線間約1.1kmの区間の側道部を供用している。現在は県道西黒田中村線から県道西黒田府中線間の約0.9kmの側道部の供用に向け、用地買収及び道路改良工事を進めている。	継続
4	広域河川改修事業	徳島県	那賀川(阿井)	那賀町	L=1,600m 築堤 C=3,840百万円	R3	5	②	28	72	当河川は、那賀町から阿南市を流れる一級河川で、平成26年などに浸水被害が発生した。全体改修延長1.6kmの河川改修を進めている。早期改修を望む地元要望も強く、引き続き事業を推進し、令和15年度の完成を目指している。	継続
5	広域河川改修事業	徳島県	那賀川(十八女)	阿南市	L=800m 築堤 C=1,460百万円	R3	5	②	42	97	当河川は、那賀町から阿南市を流れる一級河川で、平成26年などに浸水被害が発生した。全体改修延長0.8kmの河川改修を進めており、約0.1kmの改修が概成している。早期改修を望む地元要望も強く、引き続き事業を推進し、令和11年度の完成を目指している。	継続
6	総合流域防災事業	徳島県	福井川	阿南市	L=6,500m 河道拡幅 C=10,000百万円	S56	45	⑥	80	85	当河川は、阿南市を流れる河川であり、平成15年、平成20年、平成26年に浸水被害が発生した。全体改修延長6.5kmの内、下流から2.6kmが概成しているが、残る上流部の河道断面が狭く、早期改修を望む地元からの要望が強い。令和22年度の完成を目指している。	継続
7	総合流域防災事業	徳島県	熊谷川	阿波市	L=3,120m 河道拡幅 C=2,412百万円	H4	34	⑥	29	83	当河川は、阿波市を流れる河川であり、平成2年、平成16年、平成26年に浸水被害が発生した。全体改修延長3.1kmの内、下流から1.4kmが概成している。残る上流部の河道断面が狭く、天井河川となっていることから早期改修を望む地元からの要望が強い。令和13年度の完成を目指している。	継続
8	総合流域防災事業	徳島県	善蔵川	海陽町	L=930m 河道拡幅 C=1,780百万円	R1	7	②	21	65	当河川は、海陽町を流れる河川であり、平成26年、令和3年に浸水被害が発生した。全体改修延長0.9kmの内、下流から0.1kmが概成している。残る上流部の河道断面が狭く、早期改修を望む地元からの要望が強い。令和17年度の完成を目指している。	継続
9	事業間連携河川事業	徳島県	日和佐川	美波町	L=540m 堤防耐震 C=1,000百万円	R3	5	②	54	100	当河川は、美波町を流れ、下流端は日和佐港海岸に位置する二級河川で、今後、発生が予想される南海トラフ地震による津波で浸水被害が想定されている。早期対策を望む地元要望も強く、引き続き事業を推進し、令和8年度に暫定形で完成を目指している。	継続
10	通常砂防事業	徳島県	勝浦郡 前山谷	勝浦町	砂防堰堤 N=1基 溪流保全工 C=580百万円	H26	12	⑥	64	100	当箇所は、勝浦郡勝浦町大字中角字豊田に位置し、人家4戸、避難所である小学校や要配慮者利用施設である保育園等を保全するため、平成26年度より砂防事業に着手しており、令和10年度の完成を目指している。	継続

令和7年度 再評価対象事業一覧表（県土整備部関係事業）

番号	事業名	事業者	路線名・河川名等	市町村名	基本諸元 全体事業費 C(百万円)等	事業採 択年度	経過 年数	区分	進捗率(%)		事業を巡る社会経済情勢・地元状況の変化等	対応方針
									事業費	用地		
11	通常砂防事業	徳島県	才モ谷 <small>たもたに</small>	三好市	砂防堰堤 N=1基 溪流保全工 C=590百万円	H27	11	⑥	65	100	当箇所は、三好市池田町イケミナミに位置し、人家143戸、要配慮者利用施設等を保全するため、平成27年度より砂防事業に着手しており、令和9年度の完成を目指している。	継続
12	地すべり対策事業	徳島県	久保 <small>くぼ</small>	三好市	横ポーリング工、水路工、集水井工、アンカー工 C=1,200百万円	H28	10	③	65	90	当箇所は、三好市東祖谷に位置し、人家25戸および国道439号を保全するため、平成28年度より地すべり事業に着手しており、令和12年度の完成を目指している。	継続
13	公園事業	徳島県	南部健康運動公園 <small>なんぶけんこううんどうこうえん</small>	阿南市	A=70ha C=13,700百万円	H12	26	⑤	89	100	当公園は、県南地域の活性化や、子供からお年寄りまでの健康づくりを目的として整備を進めており、平成19年度の野球場の供用以降、テニスコートや陸上競技場など順次供用してきた。残る施設については、ニーズ調査に基づき、アーチェリー場は、引き続き関係団体と調整を継続する。また、アウトドアフィールドは多目的に利用可能なオープンスペースとして、令和12年度の完成を目指している。	継続

評価対象事項の①～⑦の区分

- ① 事業採択後5(3)年目で未着工の事業箇所
 - ② 事業採択後5年目で継続中の事業箇所(補助事業、砂防事業)
 - ③ 事業採択後10年目で継続中の事業箇所(交付金事業等)
 - ④ 事業採択後の準備・計画段階で5年間が経過している事業箇所
- ※①、⑥の()は砂防事業の場合

- ⑤ その他、社会経済情勢の変化等により見直しが必要な事業箇所
- ⑥ 再評価後5(3)年間を経過した事業
- ⑦ 事後評価対象